

指定管理者評価シート

事業名	老人福祉センター運営管理費	所管課(電話番号)	保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課(211-2976)
-----	---------------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市東老人福祉センター	所在地	東区北41条東14丁目
開設時期	平成6年4月	延床面積	1,677㎡
目的	老人に対する福祉の増進		
事業概要	老人に対する生活相談、健康相談、機能回復訓練及びレクリエーションの実施、職能訓練及び就職の指導、老人デイサービス事業、浴室その他の施設を老人の使用に供すること		
主要施設	大広間、職能訓練室、機能回復訓練室、浴室、娯楽室		
2 指定管理者			
名称	(社福)札幌市社会福祉協議会		
指定期間	平成26年4月1日～平成30年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由：当センターで実施している老人デイサービス事業において、利用者に対し適切なサービスを提供していくためには、利用者と施設職員との間には継続的な人的信頼関係が必要不可欠であり、指定管理期間の満了により指定管理者が変更されると、施設の管理運営に重大な支障をきたし、利用者にも不利益を与えるおそれがある。管理が良好に行われている法人であるため、非公募とした。		
指定単位	施設数：1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由：		
業務の範囲	施設管理業務、各種相談業務、健康増進業務、教養講座業務、レクリエーション業務、老人デイサービス業務		
3 評価単位	施設数：1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由：		

II 平成28年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>▼ 設置目的を実現すべく、当法人が掲げる5つの原則(人間性、平等性、サービス性、地域性、効率性)に基づき、①人にやさしく、心のかよひ合うサービスの提供 ②誰もが安心して等しく利用できる施設づくり ③サービスの質の向上と改善 ④地域から愛され信頼される施設づくり ⑤効率的な運営の推進の5つの基本方針を策定している。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>▼ 施設福祉部の5つの基本方針の平等性に基づき、「誰もが安心して等しく利用できる施設づくり」と明確に位置づけし、研修やミーティング等で徹底し、職員全員で取り組んだ結果、適正に運営することができた。</p>	<p>当法人の基本理念及び札幌市の高齢者施策、方針に基づき適正な管理運営を行うことができた。</p> <p>信頼に応えられるよう偏らない公平なサービスの提供ができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>仕様書に沿った適切な管理がなされている。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

- ▼電気、ガス、水道の使用については、節約に努めた。
- ▼廃食油改修ボックスを設置し、利用者から廃食油を集め年に数回業者に回収してもらった。
- ▼平成17年度に定めた「環境保全行動計画に関する要綱」に基づき、職員一人ひとりが環境への負荷を低減するための取り組みを積極的に実施した。
- ▼平成21年度より「さっぽろエコメンバー」に登録してエコ活動を推進した。
- ▼札幌市環境マネジメントシステムを通じた環境報告を札幌市へ行った。
- ▼職員を対象に、環境マネジメント研修を年1回実施した。

日常業務においても環境への意識を全職員が共有するなどして取り組んだ。また、館内掲示等により、利用者も積極的に消灯するなど、利用者の意識の向上が図れている。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

- ▼事務分掌、緊急連絡網、組織図等を定めた。
- ▼仕様書のとおり職員を配置した。
- ▼研修計画に基づき職員研修を実施し、内部研修で報告することで職員の意識付けを行った。また、外部研修などへ積極的に参加した。
- ▼受付業務のサービス向上を図るため、窓口时常時職員を配置した。

管理業務仕様書に基づく適正な職員を配置しており、外部研修への参加及び報告により、職員間の情報共有を図り、資質向上に努めた。また、毎月実施している内部研修では、その時に適当なテーマに沿って実施し、業務に反映できるよう努めた。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

- ▼職員会議や日々のミーティングの他に、各職務における会議を定期的に関催し、報告等を行うことで、情報の共有に努めた。

必要な情報の共有を図り、管理水準の維持向上に取り組んでいる。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

- ▼施設保全業務、清掃業務、警備業務、電気工作物保安管理業務、除排雪業務、施設管理業務等の専門性を要する業務について、第三者に対する委託を行った。いずれも適切に履行されるよう管理した。

各業務において仕様書どおりの業務がなされ、施設の適正な維持管理ができた。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回 (平成29年3月21日)	平成28年度事業計画・事業実績
	意見交換 「地域における老人福祉センターの今後の役割について」
<p><協議会メンバー></p> <p>栄東地区栄中央第一町内会会長、栄東地区福祉のまち推進センター運営委員長兼栄東地区民生委員・児童委員協議会会長、卓球利用参加者、アートフラワー講座講師、札幌市東区介護予防センター栄・丘珠、日の丸クラブ副会長、喫茶コーナーボランティア、札幌市高齢福祉課2名、東老人福祉センター館長・事務職員</p>	

協議会内で交わされた意見については、それを活かして今後も広くセンターを利用していただけるように取り組んでいきたい。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▼「社会福祉法人会計基準」を基に、当法人の「経理規程」により適切に処理を行った。
- ▼現金等の取扱いについては、不適切な経理事務の未然防止として、外部監査、内部監査、月末残高照合を実施するとともに、毎日の現金実査を行った。

現金、通帳、帳簿等の照合を定期的実施し適正に管理することができた。

▽ 要望・苦情対応

- ▼「苦情解決処理規定」に基づき、苦情を適切に受付、対応をし、その内容について職員間で共有した。
- ▼ご意見箱の設置や職員館内見回り等によって、要望・苦情を聴取し、出来ることは速やかに対応した。
- ▼苦情を解決していく過程のなかに客観的な視点を入れることを目的として外部の有識者3名による第三者委員を設置している。

即時対応が可能な案件については速やかに対応し、改善に努めた。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

- ▼アンケート結果は当施設ロビー内に掲示した。
- ▼意見、要望等は記録として残し、職員会議の中で整理・分析し、解決に努めた。また、当法人が管理する市有施設の施設長が一堂に介して行う「定例施設長会議」の場においても、諸問題等について検討を行った。
- ▼自己評価については、札幌市の指示に従い、各事業の実施状況の評価を行った。
- ▼市の実地検査においての指導内容を当法人施設福祉部全体で検討し、手順の改善やサービスの向上に努めた。

アンケート結果及び意見・要望への回答を館内に掲示した。内容を精査し、サービス向上に努めた。また、記録整理、評価を基準通り適正に実施した。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼就業規則等については、各種関係法令に基づき規定されており、それを遵守した。 ▼施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ▼1年に1回定期健康診断を実施し、再検が必要な職員には改めて受診するよう促した。 ▼当法人は札幌市からワークライフバランス企業と認証され、その実現に積極的に取り組んでいる。 ▼業務全体を見直し、受付業務を1名から2名体制にし、サービス向上を図るとともに各職員の負担軽減を図った。 ▼介護職のパート職員を嘱託職員へ昇任させるなど処遇改善を図った。 	<p>関係法令の遵守に努め、職員の勤務も希望を取り入れ、就業しやすい環境を整えた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">法令を遵守するほか、職員の勤務希望を聞くなど、職場環境向上への姿勢が見られる。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	法令を遵守するほか、職員の勤務希望を聞くなど、職場環境向上への姿勢が見られる。			
A	B	C	D								
法令を遵守するほか、職員の勤務希望を聞くなど、職場環境向上への姿勢が見られる。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼利用者の安全確保については、自然災害、防災、防犯、事故等緊急非常事態に備え、利用者の避難・救出などの必要な訓練を定期的実施した。また、職員を対象としたAED研修を実施し緊急時に対応できるよう備えた。 ▼冬期間における駐車場や正面玄関の他、近隣歩道への砂まきや除雪を実施した。 ▼連絡体制については、緊急連絡網に基づき、最短の連絡が可能な体制を確立した。 ▼損害賠償保険は管理業務仕様書に適合したものに加入した。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼清掃、警備、保守点検については業務委託を行い、仕様書に基づき適切に行った。 ▼修繕については、保守点検業者と連携し、利用者に支障が生じることがないように確認するとともに、必要に応じて、札幌市と協議した。 ▼備品管理については、日常的な見回りによって不具合等を発見し修繕等を行った。 ▼駐車場管理は、駐車スペースが狭く路上駐車が頻発するため、定期的に見回りを行った。 ▼緑地管理は、美観保持・利用者安全確保等に努めた。 <p>▽ 防災</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼防災計画、防災マニュアルを策定するとともに、安全確保のための防災体制を整え7月と1月に防災訓練を行った。 	<p>利用者の安全確保を第一に考えた取り組みを実行することができた。</p> <p>仕様書に基づき適切な管理ができた。特に駐車場については、定期的な見回りを実施したため、近隣からの苦情はなかった。</p> <p>適切に実施することができ、研修等で職員の意識を高めることができた。</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td style="text-align: center;">B</td> <td style="text-align: center;">C</td> <td style="text-align: center;">D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">適切な業務を行い、利用者の安全を確保している。施設管理も良好に行っている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	適切な業務を行い、利用者の安全を確保している。施設管理も良好に行っている。			
A	B	C	D								
適切な業務を行い、利用者の安全を確保している。施設管理も良好に行っている。											

(4)事業の計画・実施業務	▽ 生活相談等に関する業務		A B C D
	<p>▼生活相談として、利用者及び家族からの生活や福祉などに関する相談に応じるとともに、直接又は電話による相談に対し適切な助言や関連機関の紹介を行った。また、支援が必要と判断した場合は、地域包括支援センター等との連携を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数217件(目標300件) ・利用者満足度78.26%(目標80%) <p>▼定期的に東区第3地域包括支援センター職員による出前相談会を開催し、相談しやすい環境を整えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者28名 	<p>各種相談については、より気軽に相談しやすい環境を整えたが、満足度は目標を下回ったため、地域の関係団体と連携しながら充実したものにしていきたい。</p>	<p>仕様書に沿って適切な業務を行っている。地域と連携するなど工夫をしていることが評価できる。今後は、相談内容の分析等により、利用者満足度が目標値を達成するよう努めてほしい。</p>
<p>▽ 健康増進、機能訓練に関する業務</p> <p>▼看護師が日常の健康管理に関して適切且つ必要な助言を行い、利用者の健康管理を推進した。</p> <p>▼機能回復訓練室に健康増進のために自動血圧計、運動器等を設置した。</p> <p>▼健康生活応援事業を実施した。</p> <p>高齢者が地域社会で心身ともに健康な生活を営むために必要な様々な知識・情報を提供するとともに、参加・体験型による健康運動を実施し、高齢者の健康維持・増進を図り、介護予防に資する適切な援助、指導を行った。さらに、地域の団体及び関係機関と共催で継続的に行事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康ウォーク(9回)～栄東連合町内会女性部と共催 ・健康教室(12回)～介護予防センター栄・丘珠と共催 ・医師等による講話(23回) ・医師等による健康体操(5回) ・歌声広場(10回) ・ふまねっと(34回)～NPO法人与共催 <p>▼ウォームシェア事業の取組を自主的に行った(2回)</p> <p>▼札幌市から委託をされている運動能力トレーニング事業のフォローアップ事業を、担当看護師が実施した(年24回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数13,366人(前年度13,145人) ・利用者満足度87.60%(目標数値85%) 	<p>介護予防や健康に関する事業を積極的に開催し、介護予防の啓発普及を推進した。又、地域の団体及び関係機関と協働で継続的に事業を行えたことで、介護予防の拠点となる事ができた。</p>		
<p>▽ 教養講座に関する業務</p> <p>▼自由参加講座を8講座開講した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者20,408人(前年度20,432人) <p>▼定員制講座を7講座開講した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者数2,973人(前年度2,982人) ・利用者満足度93.45%(目標数値85%) ・申込定員参加率100%(目標数値90%) 	<p>参加人数はやや減少しているものの、横ばいとなっている。必要に応じて講座や内容の見直しを図っていきたい。</p>		

▽ レクリエーション、各種行事の開催等に関する業務

▼レクリエーションに関する業務

囲碁、オセロ、将棋、卓球などを行う場を開放して、利用者相互の交流の場として提供した。

・参加人数36,879人(前年度36,571人)

▼春季行事として、演芸・囲碁・民謡・舞踊・卓球大会を実施した。参加者569人

▼高齢者保健福祉週間行事として、演芸・囲碁・民謡・卓球大会を実施した。参加者490人

▼新春行事として、カラオケ発表会・お茶会を実施した。

参加者329人

▼地域との交流行事として、3世代交流盆踊り大会を実施した。参加者343人【老福利用者125名、地域の方218名(大人57名、子供161名)】

▼栄小学校1年生と利用者との、昔遊びを通じての交流会を実施した。参加者109人(老福利用者46名、1年生60名、引率の先生3名)

▼栄小学校2年生とカラオケ受講生との合唱発表会やダンスの発表会を開催した。参加者130人(老福利用者63名、2年生64名、引率の先生3名)

▼冬至の日に、柚子湯として入浴者に提供し、柚子茶も提供した。

参加者45人

▼講座終了・文化祭作品展実施した。参加者592人

▼クリスマスダンスパーティを開催した。参加者98人

▼栄東地区連合町内会及び栄東福祉のまち推進センターと協働で地域版のウォームシェア事業を行った(講話、DVD鑑賞会、栄町中学校合唱部による発表会)。

参加者146人

▼利用者満足度87.50%(計画85%)

▽ 老人デイサービス事業に関する業務

▼送迎時の歩行状態、バイタルチェック、入浴時の皮膚観察などを行い、状況に変化がある場合は、家族や関係機関等に必要な連絡を随時行った。

▼感染予防のため、職員及び利用者の手洗い・手指消毒を徹底した。

▼身体機能の維持向上を図るため、個別機能訓練を実施した。さらに、希望者には職員が付き添いセンター内で歩行訓練を実施した。

▼昼食前に嚥下体操を実施した。

▼季節に合わせた野外活動やレクリエーションを実施した。

▼地域の児童会館の子供たちと、餅つきや流しソーメンなどの交流会を実施した。

▼他の事業所では受け入れにくい利用者でも公の施設として積極的に受け入れた。

▼利用者数6,465人(前年度6,778人)

▼利用者満足度89.25%(計画85%)

▽ 高齢者の活動支援及び地域開放に関する業務

▼各種サークルへの施設開放

講座修了生により組織されたサークルや各種同好会などに対して、空室の利用提供や日程の調整などを図り活動を支援した。

▼地域に対する施設開放

町内会、民生委員、老人クラブなどの会議や打ち合わせの場所として空室を提供した。また、住民集団検診・がん検診の場としてロビー等を開放した。

団体や関係機関の協力をいただき、小学生との交流会や連合町内会との協働行事も昨年同様実施することができた。必要に応じて内容を見直すなど、より満足してもらえるような施設運営を目指したい。

利用者の施設入所や長期入院などが続き、利用者減となったが、毎月のミーティングで利用者処遇について確認し、偏らないサービスを提供することができた。今後も選ばれる施設になれるよう質の高いサービスが提供できるよう努めたい。

空室を自主運営活動及び地域活動に開放することで、施設の有効活用とPRを図った。

	<p>▽ その他設置目的に関する業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼地域との連携・交流を図るため、施設行事としての「三世代交流盆踊大会」、「地域合同ウォームシェア」を開催した。 ▼栄東地区福まち推進センター等主催の「日の丸ちびっこ夏祭り」「シニアと子どもの集い」「ふれあい食事会」「イチゴ狩り」の行事に積極的に参加した。 ▼連合町内会主催の栄町元気プロジェクトに参加し、花植え及び札幌雪まつりつどーむ会場における雪像制作への支援を行った。 ▼地域住民や施設利用者を対象に、東区社会福祉協議会と合同で「ボランティア育成講座」を実施した(2回) ▼社会貢献として、福祉を志す学生や看護学生等の実習、中学生の職場体験や教職員課程学生の実習を受け入れた。 	<p>地域行事に積極的に参加することで、連携・交流・PRに役立てた。社会教育の一環として実習生を積極的に受け入れた。新たな試みとして、東区社会福祉協議会との協働によりボランティア教室を開催した。</p>																				
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="384 846 978 976"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H27実績</th> <th>H28計画</th> <th>H28実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>人数(人)</td> <td>81,121</td> <td>82,000</td> <td>79,107</td> </tr> <tr> <td>浴室</td> <td>人数(人)</td> <td>9,804</td> <td>9,780</td> <td>9,527</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減免0件、還付0件</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼職員全員が利用される方の目線に立ち、提供するサービスの質の向上・改善を継続して行った。 ▼地元町内会や老人クラブに「センター便り」を配布した。 ▼正面玄関前に設置している掲示板に、施設行事等の掲載を行った。 ▼地域の行事の開催及び各種会議に職員が出席し連携に取り組んだ。 ▼ホームページを活用し、利用促進を図った。 			H27実績	H28計画	H28実績	全体	人数(人)	81,121	82,000	79,107	浴室	人数(人)	9,804	9,780	9,527	<p>新規登録者は235名いたが、全体の利用者数はやや減少した。</p> <p>各老人クラブや各関係機関への「センター便り」配布や各種会議に出席し、センターのPRを行った。今後も利用者のニーズを把握し、利用促進へとつなげたい。</p>	<table border="1" data-bbox="1246 813 1442 846"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>適切に業務を行っている。利用促進の取組について工夫し、効果的な方法を検討してほしい。</p>	A	B	C	D
		H27実績	H28計画	H28実績																		
全体	人数(人)	81,121	82,000	79,107																		
浴室	人数(人)	9,804	9,780	9,527																		
A	B	C	D																			
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼地元町内会や老人クラブに「センター便り」を配布した。 ▼世代間交流行事等のチラシをまちづくりセンターを通して各町内会に配布した。 ▼ホームページにおいて行事等の案内を行った。 ▼老人クラブ等の行事や、関係団体との会議においてセンターの周知活動を行った。 <p>▽ 引継ぎ業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼前回から継続指定のため、引継ぎ業務なし。 	<p>「センター便り」の配布、各種会議においてセンターの役割について、積極的に広報を行った。今後は、新たなPR活動を検討して周知を図りたい。</p>	<table border="1" data-bbox="1246 1592 1442 1626"> <tr> <td style="background-color: yellow;">A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>適切な広報活動を実施している。今後は、新たな手法についても検討してほしい。</p>	A	B	C	D															
A	B	C	D																			

2 自主事業その他				A	B	C	D
▽ 自主事業 ▼飲料の自動販売機を設置した。 ・自動販売機手数料収入 217,098円 ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 ▼施設修繕や物品購入は市内企業に発注依頼した。 ▼館内清掃業務については引き続き札幌市母子寡婦連合会に委託した。 ▼資源ごみ(新聞・ダンボール)の回収は、障がい者就労支援社会復帰センターに依頼した。 ▼廃食油回収ボックスを設置した。 ▼社会福祉法人麦の子会によるパン販売をセンター内で週3日実施した。		利用者の利便性の向上に努めた。 市内企業等を十分に活用するとともに、福祉施策への配慮を行った。さらにパン販売は利用者の利便性も図ることが出来た。		札幌市の施策に沿った運営を行っている。			

3 利用者の満足度				A	B	C	D
▽ 利用者アンケートの結果							
実施方法	・平成29年1月13日(金)～1月27日(金)まで実施。 ・老人福祉センター利用者300名を対象(回収245枚) ・利用者に偏りが出ないように留意して配布する。	主な項目で90%を超える満足度をいただけた。これは、職員が常日頃から施設運営方針に沿った対応が出来た為と思われる。この結果に満足することなく、改善が必要と思われる所は、出来るところから取り組み、きめ細やかな対応をしていきたい。 また、今回は回収率が低調であったことから、今後はさらに多くの声が聞ける様に、回収の啓発を図っていきたい。		満足度が高く、評価できる。今後も利用者の意見・要望などについてはアンケートの回答内容だけではなく、日々、利用者の声を聞いて対応してほしい。			
結果概要	・センターは地域の施設として、気軽に利用できる場であるか(満足度94.75%) ・受付カウンターにおける対応(満足度93.32%) ・職員の接遇(満足度93.332%) ・施設の総合的な満足度:90.84%						
利用者からの意見・要望とその対応	【要望】 駐車場が狭すぎる。 【対応】 現状では、台数を増やすことはできないので、今後も公共交通機関を利用いただくよう促していきたい。 【要望】 冬場の教室が寒い。 【対応】 早目にボイラーを点けたり暖房機を置くなど、状況を確認しながら対応していく。 【要望】 講座の新設について。 【対応】 利用者ニーズを把握していきながら、要望の多い講座に関しては検討していく。						

4 収支状況				計画通り執行した	A B C D
▽ 収支 (千円)					
項目	H28計画	H28決算	差(決算-計画)	介護保険事業収入が減少したが、経費の削減をはかり適切に執行している。介護保険事業収入の増に向け、事業内容の工夫に取り組んでほしい。	
収入	96,068	94,558	▲ 1,510		
指定管理業務収入	95,876	94,322	▲ 1,554		
指定管理費	43,462	43,462	0		
利用料金	50,170	48,521	▲ 1,649		
その他	2,244	2,339	95		
自主事業収入	192	236	44		
支出	95,718	90,190	▲ 5,528		
指定管理業務支出	95,681	90,153	▲ 5,528		
自主事業支出	37	37	0		
収入-支出	350	4,368	4,018		
利益還元	0	0	0		
法人税等	350	350	0		
純利益	0	4,018	4,018		
▽ 説明					
▼収入の利用料金については、通所介護事業の介護保険事業収入が計画していた延べ利用者人数を下回ったことにより減収となり、計画を1,649千円下回ったが、人事異動に伴う人件費、燃料費等の減があったため、黒字となった。					

<確認項目> ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 ・当事業の運営管理は、指定管理費及び通所介護事業の介護保険収入で行われており、支出の抑制も図りながら、収支のバランスをとり、安定した経営を行っている。		適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ・個人情報保護については、当法人の「個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき適正に対応している。 ・情報公開については、当法人の「情報公開規程」に基づき透明性の確保に努めている。なお、請求は0件であった。 ・暴力団の排除については、札幌市暴力団の排除の推進に関する条例に基づき、施設を暴力団の活動に使用させないことや、協定に関する契約については暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないように努めている。なお、暴力団関係と思われる相手方の利用や契約の実績はなかった。		適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
<p>・管理業務仕様書に基づき、概ね順調に事業を実施するとともに、利用者の安全確保を第一に利便性を考慮した運営を行うことができた。</p> <p>・利用者一人一人に対する挨拶の徹底によって、身近であり気軽に利用できる施設として利用してもらうことができた。</p> <p>・施設管理面では、各種機器類の延命化に努め、優先順位に基づく機器整備を行った。</p> <p>・三世代交流盆踊り大会及び地元中学生による合唱を含んだ地域合同のウォームシェア事業を実施することで、地域の多くの方に参加いただき、地域との交流促進を図ることができた。</p> <p>・地域の行事等に積極的に参加・支援を行った。また、地域の小学校との交流会を引続き実施することができた。</p>	<p>・引き続き、利用者の安全確保を第一に利便性・快適性を考慮した施設運営を行っていく。</p> <p>・対応、接遇についても、各職員のスキルアップを図りながら、利用者の目線に立ち取り組んでいく。</p> <p>・地域ネットワーク形成や地域交流については、より関係を深め、地域に貢献できる行事・催し物を企画・開催できるよう努める。</p> <p>・地域福祉及び介護予防の拠点としての老人福祉センターの機能をさらに強化する。</p>

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
<p>施設目的に沿って、適切な運営管理が行えている。多くの利用者が利用しやすいような環境を整えることに努めていると言える。また、地域と連携した活動を行い、積極的に交流促進を図っていることについて評価する。</p>	